

令和3年度第5回 横浜市外郭団体等経営向上委員会会議録

日 時	令和3年9月29日（水）[13:00～17:00]
開催場所	横浜市庁舎18階 共用会議室 みなと4
出席者	鴨志田委員長、田邊委員、治田委員、戸田委員、碓井委員
欠席者	なし
開催形態	公開（傍聴者なし）
議 題	<p>○総合評価等の実施について</p> <p>[議題1] 株式会社横浜国際平和会議場</p> <p>[議題2] 公益財団法人よこはま学校食育財団</p> <p>[議題3] 横浜港埠頭株式会社</p> <p>[議題4] 公益財団法人横浜市緑の協会</p>
決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「株式会社横浜国際平和会議場」は暫定として、総合評価分類を「事業進捗・環境変化等に留意」団体経営の方向性を「引き続き経営の向上に取り組む団体」とした。 ・「公益財団法人よこはま学校食育財団」は暫定として、総合評価分類を「取組の強化や課題への対応が必要」団体経営の方向性を「引き続き経営の向上に取り組む団体」とした。 ・「横浜港埠頭株式会社」は暫定として、総合評価分類を「事業進捗・環境変化等に留意」団体経営の方向性を「引き続き経営の向上に取り組む団体」とした。 ・「公益財団法人横浜市緑の協会」は暫定として、総合評価分類を「事業進捗・環境変化等に留意」団体経営の方向性を「引き続き経営の向上に取り組む団体」とした。
議 事	<p>[議題1] 株式会社横浜国際平和会議場</p> <p>1 総合評価等の実施について (所管局・団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価シートに基づく自己評価について説明 ・変更協約等（素案）について説明 <p>2 委員からの意見等 (戸田委員)</p> <p>23億円の赤字をどのようにゼロにするのか。また、大規模改修でさらにコストをかけ黒字を確保するとあるが、赤字を解消するためにはコストカットが重要だと考える。この点について団体側の考えを聞かせていただきたい。</p> <p>(所管局)</p> <p>コスト削減については、施設の稼働がないことによって減らすことが出来るもの、例えば委託費については受託事業者に削減を依頼している。大規模改修の主なものは、照明のLED化などコスト削減に向けた改修であり、経営努力として記載している。さらに、改修工事後に会場使用料の値上げをする場合もあり、コスト削減と収入増加の両面で黒字確保を目指していく。</p> <p>(治田委員)</p> <p>コロナ禍で苦勞されながら様々な営業活動をされていると思うが、これであれば</p>

収入増につながるというようなビジネスモデルがあれば教えていただきたい。

(所管局)

いまだ営業活動ができる状況ではないが、まずは予約いただいているお客様に安心感を提供するためにも、オンライン配信やハイブリット開催のパッケージ商品を開発し、できるだけ安価で提供している。ほかには、体温測定のスーマルカメラや飛沫防止のパーテーションの貸出など、お客様の安心と安全を可能な限り担保しながら開催いただこうと努力している。また、大学の施設を試験会場としていた国家試験などが、大学が使用できなくなったことで当施設を利用することが増えており、我々も積極的に各団体へ働きかけている。

(碓井委員)

経営点検シートのコンプライアンス推進の項目で現金紛失事案1件と記載があったが、これはどういった内容か。

(所管局)

内部で使用する予定の現金10万円を金庫に保管していたがそれを紛失した。コンプライアンス委員会を立ち上げ、規定を設けて再発防止に取り組んでいく。

(碓井委員)

現金の取り扱いを複数人で担当するなど、十分気をつけていただきたい。

(田邊委員)

400万人超の利用者想定がおおよそ10分の1となったが、驚くことに売り上げが前年比50%を切っていない。キャンセル料をしっかりと受け取ったのか。ここまで売り上げを確保した経営努力に感心する。この点後程ご説明いただきたい。

変更協約等について、現状が厳しいため目標等を変更することは十分に理解できる。しかしながら重要なのは、アフターコロナを見据えて3年先にどのように市の方針である観光と賑わいづくりを実現するのかであり、そのような話を聞かせていただきたい。アフターコロナを見据えて、LED化やハイブリット開催のためのオンライン設備、通信回線能力の向上など、競争力を高めるための投資は徹底的に行うべきである。

また、試験会場としての新たな需要も、パシフィコなら十分なスペースが提供でき、まさにチャンスである。そのための設備投資など、3年先、5年先を見据えたパシフィコの姿をぜひ協約に盛り込んでいただきたい。

(所管局)

売上については、ホテルの賃貸業などの不動産業もあり、それは集客減に比例しないというのが一つある。また、ご指摘のキャンセル料については公の施設とは違い株式会社であるため、しっかりとお客様と交渉し事情を説明の上、料金を受け取っている。そのような努力によって売り上げを確保している。

アフターコロナを見据えた取組については、海外向けのセールスはほとんどできていない状況だが、世界中から関係者が集まる会議などの機会を利用し、新たな施設であるノースのPRを行うなど、コロナ後を見据えたセールス活動に取り組んでいきたい。

また、コロナ禍での投資として、数千万円かけて施設利用に関する各種申込をオンライン化している。さらに、来年度からの3か年の中期経営計画を作成していく中で明るい未来が描けるような目標を立て取り組んでいきたい。

(鴨志田委員長)

財務に関する取組である売上について、最終目標値を 86 億 6 千万円に変更しているが、実質あと 6 か月という状況。達成に向けた見込みはどうか。

(所管局)

今年度予定している催し物をいかに開催していただくかによるが、厳しい状況であり、見通しとしては 79 億円～80 億円くらいに留まると見込んでいる。

(鴨志田委員長)

来年度作成する新たな協約ではアフターコロナに向けた取組をぜひ検討いただきたい。それでは、暫定的な評価分類をお願いする。

(田邊委員)

予定した成果を達成していないが、これは不可抗力である。留意すべき課題をしっかりと認識し、未来へ向かって計画を立てている話も聞けたので、事業の進捗、あるいは環境変化等に留意をしながら、引き続き努力を続けていただきたい。その意味で、「事業進捗・環境変化等に留意」を提案する。

→全委員同意

3 暫定評価

<評価分類> 事業進捗・環境変化等に留意

<団体経営の方向性> 引き続き経営の向上に取り組む団体

[議題 2] 公益財団法人よこはま学校食育財団

1 総合評価等の実施について

(所管局・団体)

- ・総合評価シートに基づく自己評価について説明
- ・協約等（素案）について説明

2 委員からの意見等

(碓井委員)

給食物資の納入事業者は何者くらいあるのか。

(所管局)

事業者は、取り扱う食品により冷凍食品、青果や食品等に分類されるが、それらを合計して約 100 者である。

(碓井委員)

今年度新たに策定する協約の「財務に関する取組」については、牛乳を除いた給食物資の納入事業者を全て市内にすることを目標とするのか。

(所管局)

そのとおりである。食品の分類ごとに入札を行い、安価なところと契約する。

(戸田委員)

協約等（素案）に記載はないが、物資購入選定委員会について伺いたい。年 6 回開いているが、毎回、100 者が適正かをチェックしているのか。

(所管局)

納入事業者として団体に登録する際に適正な事業者かどうかを審査している。

(戸田委員)

登録事業者の数と実際に納入している事業者の数を伺いたい。

(所管局)

登録は100者で、納入事業者数も登録事業者数とほぼ同数である。

(戸田委員)

物資納入業者制裁処置判定委員会が4回開かれ、9件の文書厳重注意が行われているが、どのような内容か。

(所管局)

金属異物の混入などの場合に、事業者に対して文書厳重注意を行った。

(戸田委員)

その様な事業者は納入事業者から除外されるのか。

(所管局)

内容により、文書厳重注意よりも重い入札停止などがあり、文書厳重注意では除外されない。今のところ、学校への納入時の点検で発見できており、混入物が児童の口に入ったという案件はない。そのため、文書厳重注意となっている。

納入物資については、まず納入事業者で点検している。その後、学校に納入後は調理前や調理時、教室で一人ひとりのお椀によそう際、それぞれの段階で点検しており、学校給食全体として安全確保する仕組みを構築している。

また、混入物が発見された際には、学校から団体や教育委員会にすぐ報告されることになっており、すぐに必要な対応をとれるようになっている。

(戸田委員)

学校に点検をさせているのは意外だが、そういう体制を構築することで、児童の口に入る直前まで点検を徹底しているということか。

(所管局)

最大限注意は払っているが、調理器具の一部が劣化で割れてしまった、教室での配膳時に児童の髪の毛が入ってしまったなど、学校現場における異物の混入の可能性はゼロではないため、このような体制を構築している。

(治田委員)

令和元年度と令和2年度の決算額をそれぞれ確認したところ、令和2年度の非常勤職員人件費が上がっているが、要因はなにか。

(所管局)

算定方法の変更に伴うものであり、大きな変化はない。

(田邊委員)

団体は児童の安全のために非常に大切な役割を担っている。しかしながら、過去から当委員会で「事故0」を目標にすべきと指摘してきたが、それが新協約で設定されていない。その理由を説明願いたい。

また、食材費は保護者が100%負担しているのであれば、保護者の意見が団体経営に反映されるべきである。

(所管局)

保護者視点を取り入れるため、横浜市PTA連絡協議会会長などに団体の評議員や役員を担っていただいている。

(田邊委員)

そのようにガバナンスを効かせていることは理解した。市民目線をしっかり入れ

て児童の安心・安全を担保していくことは非常に重要だと考える。また、納入事業者をしっかりと精査し、安全・安心で、なおかつ安価に給食を提供できる仕組みを作るのが団体の役割だと思うが、新協約にはそれらの内容がなく、見直す必要があると考える。「財務に関する取組」も目標設定として相応しくない。団体の収支の仕組みなどを勘案すると、目指すべきことはコストダウンである。職員が8人に対して非常勤を含めて役員が8人も必要なのか。それらについて回答をお願いする。

(所管局)

安全・安心のための取組についてはこれからも強化していく。事故0については、団体だけで成せるものではなく、教育委員会の役割、学校の役割、それぞれの責任部分があるため、団体の協約目標として掲げるのは難しいと判断した。一方で、目指すべきであることは十分承知しており、事業者へ定期的に訪問し、なんらかの課題があったときには現地で状況確認も行っている。横浜市の衛生部局、健康福祉局とも連携し、HACCPの観点も取り入れながら、財団ができる範囲での指導や改善に向けた具体的な調整等を行っている。

(鴨志田委員長)

過去、経営向上委員会から役員数の問題、事故0という目標設定、財務の取組等について指摘してきた。新協約について再度、内容の検討をお願いしたい。

それでは、暫定的な評価分類をお願いする。

(田邊委員)

総合評価シートについては、残念ながら予定していた目標を全て達成できていないわけではない。その中で留意すべき課題があり、今の状況ではそれが整理されていない。そのため、「取組の強化や課題への対応が必要」を提案する。

→全委員同意

3 暫定評価

<評価分類> 取組の強化や課題への対応が必要

<団体経営の方向性> 引き続き経営の向上に取り組む団体

[議題3] 横浜港埠頭株式会社

1 総合評価等の実施について

(所管局・団体)

- ・総合評価シートに基づく自己評価について説明
- ・協約等(素案)について説明

2 委員からの意見等

(戸田委員)

令和3年度予算について、令和2年度は当期純利益が出ている。一方、令和3年度予算では約25億円の特別損失が計上されているが、この理由を伺いたい。

(団体)

埠頭再編によるものである。大黒ふ頭において、コンテナターミナルから自動車ターミナルへの機能転換を進める中で、ガントリークレーンの撤去工事・除去等に費用がかかるため特別損失として計上している。埠頭再編の進捗により、赤字になる年度もあるが、今回はスケジュールも予め把握できているため、予算に計上した。

(戸田委員)

手元の資料を確認すると、南本牧ふ頭での建設発生土の受入れの収益が約 20 億円となっているが、事業の詳細を伺いたい。

(所管局)

現在、南本牧ふ頭を中心に埋め立てをおこなっている。その埋め立てに要する建設発生土の受入れと管理業務を横浜市から団体へ委託している。埋立事業そのものを団体に委託しているわけではない。

(田邊委員)

今年度新たに策定する協約の「公益的使命の達成に向けた取組」において、(株)横浜港国際流通センター（YCC）と連携する、と記載があるが、内容が不十分である。団体はYCCの株式を取得しており、一体的経営によるメリットや、YCCに対してガバナンスを効かせる方法を明確にする必要がある。これらについて、新協約においてより具体的な目標設定をしてほしい。

また、総合評価シートの「財務に関する取組」について、本牧A突堤でのロジスティクスパークの進捗が目標 100%に対して 34.5%となっているが、理由や状況を伺いたい。

(所管局)

ロジスティクスパークについては、契約手続きは完了していないが、全ての予定事業者から申し出がされている状況である。令和3年度から建設着工に向けた契約手続きを行う。

(鴨志田委員長)

YCCとの連携について指摘があった。新協約について、再度、内容の検討をお願いしたい。それでは、暫定的な評価分類をお願いする。

(田邊委員)

総合評価シートについては、予定した目標を全て達成できているわけではないが、課題の整理は行っている。そのため、「事業進捗・環境変化等に留意」を提案する。

→全委員同意

3 暫定評価

<評価分類> 事業進捗・環境変化等に留意

<団体経営の方向性> 引き続き経営の向上に取り組む団体

[議題4] 公益財団法人横浜市緑の協会

1 総合評価等の実施について

(所管局・団体)

- ・総合評価シートに基づく自己評価について説明
- ・協約等（素案）について説明

2 委員からの意見等

(戸田委員)

協会の掲げる3つの公益目的事業（緑化推進、公園事業、動物園事業）の一つである公園事業について、スポーツ振興に関わるイベントを実施しているが、団体の

公益目的に沿っているのか説明してほしい。他にスポーツに関する外郭団体もあるので気になった。

また、基金が20億円弱あり、毎年1,200万円ほど増えているが、どのような経緯で寄附を得ているのか。また、用途は限定されているのか。

(所管局)

公園の指定管理者として、公園の維持管理はもとより、市民に公園の施設の利用の仕方を案内する意図で、スポーツやレクリエーションに係るイベントを企画・実施している。他の公園で指定管理者となっている市内造園業者なども、自主事業として同様に、幅広い利用方法の提案に取り組んでいる。

寄附金については、「よこはま緑のまちづくり基金」として過去に26億円ほど積み立てたもので、現在も毎年1,000万円ほど寄附をいただいている。区民まつりなどのイベントで設置した募金箱などを通じた市民からの寄附が多い。

協会の設立目的は、基金の運用益で緑化推進を進めるということ。26億円は基金設立に際して市や関係団体からいただいたもの。

毎年の寄附金については、例えば動物園関連でアニマルペアレント、ライオン募金など、個別の動物園事業に対して寄附をいただいている。

(戸田委員)

野毛山動物園について、有料化の議論はこれまでなされているのか。受益者に負担を求める方が合理的だと思う。

(所管局)

有料化の話もあったが、子どもたちが動物に触れる貴重な場であることから、市の方針として無料としている。募金やクラウドファンディングにも取り組み、資金源として活用する工夫は必要と考える。

(碓井委員)

協約の主要目標として、資金収支計算書における収支均衡を挙げているが、これは事業ごとか、団体全体での目標か。また、正味財産増減計算書ではなく、資金収支で設定している理由は何か。

(所管局)

団体全体での目標である。正味財産増減計算書だと、現金支出を伴わない減価償却費なども計上され、年度によって増減が激しい。現金での出入りをしっかり管理するために、資金ベースでの収支均衡を目標とした。

(田邊委員)

「財務に関する目標」の令和2年度実績である約11億円について、目標に対して1.8億円ほど不足とのことだが、この程度で済んだということか。市からの補てんはあったのか。

(所管局)

コロナ禍で市の要請により施設を閉館したものについては、市が補てんしている。とはいえ、例えば海の公園に附帯する駐車場などは閉じていないが、海水浴が禁止だったので駐車場の料金収入はなく、補てんもない。こうしたものの積み上げで1.8億円ほどのマイナスになった。

(田邊委員)

先ほどのスポーツ振興に関わるイベントについては、市が賑わいづくりや観光振興

	<p>を掲げているのだから、団体もミッションとして盛り込めばよいと思う。また、運営施設の有効活用を目標に入れれば、収入増にもつながるのではないか。</p> <p>「財務に関する取組」の目標設定について、考え方はよくわかるが、収入を増加させて市からの補てんを減らすという視点は、他の団体も含めてミッションとして持つべきだと思う。団体への委託料を前年比で減らせば、市財政への貢献になるという発想が必要。</p> <p>例えば野毛山動物園についても、過去に在り方を検討し、その方針は市会でも承認されているとのことだが、長期的な課題として動物園の合理的な在り方は検討しておくべき。公園、動物園の在り方検討にあたっては、市民、市、協会にとってどのようなメリットがあるのか、また協会の存在意義についても広く市民から理解を得られるよう、検討が必要だと思う。</p> <p>非常に厳しいコロナ禍において努力されたことがよくわかるが、予定した成果が上がっていない部分がある。多少課題は残っているものの方向性を見ながら進められている。「事業の進捗・環境変化等に留意」を提案したい。</p> <p>→全委員同意</p> <p>3 暫定評価</p> <p><評価分類> 事業進捗・環境変化等に留意</p> <p><団体経営の方向性> 引き続き経営の向上に取り組む団体</p>
<p>資 料</p>	<p>資料1：総合評価シート</p> <p>資料2：協約等（素案） ※「協約等」の審議団体のみ</p> <p>資料3：変更協約等（素案） ※該当団体のみ</p> <p>資料4：協約変更説明書 ※該当団体のみ</p> <p>資料5：現協約の考え方 ※該当団体のみ</p>